

# もぐもぐだより

宮津市学校給食委員会  
献立作成部会  
令和7年10月27日  
No.8

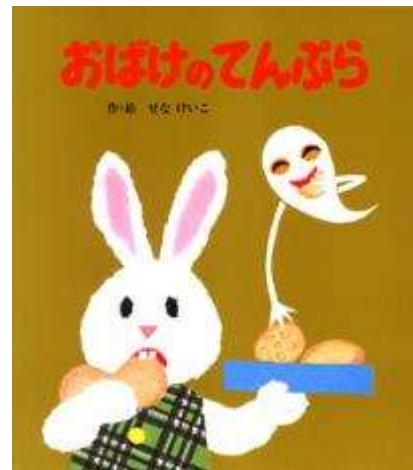
## どくしょしゅうかん 読書週間がやってきました！

10月27日～11月9日は読書週間です！ 終戦後の1947年、戦争の傷痕が残っている中、「読書の力で、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと始まりました。そこで、給食でもその本にちなんだメニューを出します。楽しく本を読みながら、給食も味わいましょう！



## 「おばけのてんぷら」

作・絵:せなけいこ (ボフラ社)



うさこは山へくさつみに行くと、こねこくんがおべんとうを食べているのにであります。おかずは、おいしそうなてんぷら。うさこはさっそく、自分でもつくってみることにしました。

「ああ、おいしい。てんぷらってだいすき。」  
うさこがごきげんでてんぷらをあげていると、においにさそわれて、山のおばけがそっとしのびこんできました。さあ、たいへん！

10月27日のメニュー。「野菜の天ぷら」を作ります。  
給食では絵本で出てくる天ぷらの中からうさつまいもとれんこんを揚げます。

## 「いつごうさぎとゆきのもり」 さく・え:まつおりかこ (岩崎書店)



道ばたにちょっと変わったトラックがとまっています。  
まだ暗い冬の朝。車には明かりが。中をのぞいてみると、小さな5匹のうさぎたちが、朝ご飯を食べているところ。  
準備ができたら、さあ出発！長い長いトンネルをぬけると、そこはあたり一面雪！さあ、雪遊び！雪だるまづくりに、ソリすべり。メイが見つけた小道を行くと、大きな湖があつて…

10月28日のメニュー。いつごうさぎのきっさてんメニュー「コーンバターいりみそラーメン」を給食風に。植物性バターを使った「コーンバター風みそラーメン」を作ります。

## 「スープ屋しづくの謎解き朝ごはん 巡る季節のミネストローネ」

著:友井羊 (宝島社)



春夏秋冬、そばにはいつもやさしいスープと名推理があつた。累計55万部突破の大人気『スープ屋しづく』シリーズ最新刊は、四季折々のミネストローネが人々の心をつなぐストーリー。

10月29日のメニュー。「秋野菜のミネストローネ」を作ります。  
黄色のトマトの代わりに黄パプリカを入れます。

## 「こまつさんのサラダ」 さく:寺村輝夫 絵:岡本岬子 (あかね書房)

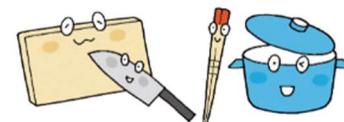


こまつさんのお店に突然あらわれた魔女。花をせんぶ野菜にかえて、おいしいサラダとドレッシングの作り方を歌いだしますが……。

10月30日のメニュー。「こまつさんのサラダ」を作ります。  
みなさんはどんなサラダが好きですか？



## ほん しゅうかい 本の紹介



### 「トリック オア トリート！」 作:岡村志満子 (くもん出版)

10月31日のメニュー。「米粉のパンプキンケーキ」を作ります。

＜出版社からの内容紹介＞  
今日はハロウィン。4人の子どもたちが、とっておきの仮装ででかけます。いろんな家のドアをたたいて、あいことばをいってみよう。「トリック オア トリートおかしくれなきや いたずらしちゃうぞ！」だれがでてくるかな？ どんなおかしをもらえるかな？ ポケットのおかしがいっぱいになったころ、町はずれの大きなおやしきのドアをたたくと、そこは・・・。

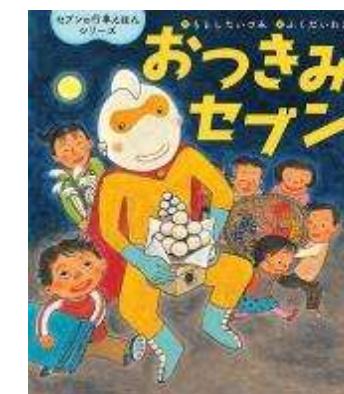


### 「こまったくさんのスパゲティ」 作:寺村輝夫 絵:岡本颯子 (あかね書房)



11月4日のメニュー。「こまったくさんのボロネーゼスパゲティ」を作ります。

＜出版社からの内容紹介＞  
かわいい花屋のこまったくさんが、休みの日にスパゲティを作ります。アフリカゾウがおしゃってくれる、おいしいおいしイスパゲティ。



### 「おつきみセブン」 作:もとしたいづみ 絵:ふくだいわお (世界文化社)

＜出版社からの内容紹介＞  
空からやってきたセブンが、十五夜やお月見について、コミカルに解説します。ヒーローなのにおっちょこちょいなセブンは子ども達に愛されること間違いない！

11月5日の十三夜・豆名月メニュー。「ココア豆」を作ります。

### 「うみのそこたんけん」 文:中川ひろたか 絵:澤野秋文 (アリス館)



＜出版社からの内容紹介＞

「海の底はどうなっているんだろう」とつぶやくと、海坊主があらわれて、海の水を飲み干してしまう。男の子は、海坊主の子どもたちとともに海底を探検。くじらのホネ、海底温泉など、様々な不思議な生き物に出会う。

11月6日のメニュー。「クリスピーアイワシ」を作ります。

### 「鴨川食堂ひっこし」 著:柏井壽 (小学館文庫)

＜出版社からの内容紹介＞

「鴨川はんには申しわけないんやが立ち退いて欲しいんや」。京都・東本願寺近くにひっそりと佇む食堂で、依頼人の“もう一度食べたい”を叶えてきた鴨川流・こいし親娘。ある日、食堂の大家が店を訪れ、一帯の再開発にともない建物を明け渡して欲しいと流に告げる。移転か店じまいか、戸惑いながらも話し合いを始める流とこいし。心もお腹も温まる、美味しいミステリー、第10弾。



11月7日のメニュー。小説にててくる「ボルシチ」を給食風にアレンジして作ります。

ほかのものでえほんしようせつ  
他にも「食べ物」が出てくる絵本や小説はたくさんあります！

してんほんさが  
その視点で本を探してみるのも、おもしろいです。読んだ本をともだちこうりゅうどくしょせかいひろ  
友達と交流して、読書の世界を広げましょう♪

